

# 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	浪速区
学 校 名	大阪市立木津中学校
学校長名	竹村 弘文

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

### (2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・木津中学校では、第3学年 39名

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

昨年度の結果と比較すると、国語、数学の学習面においては全体として平均正答率のポイントが低くなる結果となった。しかし、生徒たちの学習に取り組む姿勢には秀でたものが見られた。例えば、解答を文章で答える国語の設問において、「まったく解答しなかった」と答える生徒の割合は、全国や大阪市の平均を大きく下回っており、ひたむきに努力する姿勢は評価に値するものと考える。本校は調査対象人数が少ないため、単純に全国・大阪市の平均や昨年度調査との比較等でその傾向を分析することは難しい部分がある。そこで、経年での比較調査を行うと、現中3生が2年前（中学1年時）に受験した「チャレンジテスト」では、大阪市との比較ポイント＜本校生徒の平均得点／大阪市全体の平均点＞は、国語0.89、数学0.82であったが、今回の調査においては、大阪市との比較ポイントは、国語A…0.93、国語B…0.99、数学A…0.90、数学B…0.83と、上昇傾向が見られた。このことから、本校で取組んでいる日々の学習をはじめ、習熟度別少人数授業の取り組みや水曜日に設定している補充学習、放課後の個別指導を粘り強く丁寧に行っていっていることが、基礎学力の定着に効果を表してきていると考えられる。今後も、引き続き、補充学習の充実を図るとともに、子に応じた指導を増々取組んでいきたい。

また、自尊感情や規範意識については、昨年度同様、肯定的な回答が高い割合を示している。このため、生徒は落ち着いた環境で学校生活を送ることができている。このことは、結果的に学力の向上にもつながっていると思われる。今後も、生徒一人ひとりに寄り添った生活指導を基本とし、学校行事等を通じて、規範意識の醸成や自尊感情を育めるよう取組みを進めていきたい。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

**【国語】**全体としては大阪市の平均正答率と比較して低い結果となったが、設問によっては大阪市・全国を上回るものもあった。例えば、「漢字を読む」設問においては、本校の受験者全員が正解しているものもあり、また、「適切な語句を選択する」設問においても、全国平均を上回るものもあった。

**【数学】**数学A、Bとも大阪市の平均を下回ったが、設問によっては国語同様、全国の平均を上回るものを見られた。例えば、基礎的な計算においては、全国平均を5.2ポイント上回っており、大阪市取組施策である「習熟度別少人数授業の実施」の効果が発揮されたと考えられ、また基本的な事項を授業の中で繰り返し練習させることで、基礎的な部分の定着が図れていることがわかる。

### 質問紙調査より

自己肯定的な回答が多く、学校行事等の取り組みや生活指導の充実が、自尊感情や規範意識を育むことにつながっている。しかし、「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝て（起きて）いますか」等の家庭での基本的生活習慣に対する設問に対する肯定的な回答は、全国平均を下回る結果となった。基本的生活習慣の乱れは学校生活にも影響を及ぼしており、その改善が必要である。保護者との連携を密にし、保護者や子どもへの啓発を充実させるとともに、関係諸機関とも連携を図りながら、基本的生活習慣の定着に努めたい。

## 今後の取組

本校では、これまで習熟度別少人数授業をはじめ、補充学習・放課後学習会・中3集中学習会や個別学習指導等、個々の状況に応じたきめ細かい指導を継続してきている。学力向上に向けた大阪市取組施策と関連し、スクールエンパワメント推進事業を展開するとともに、元気アップ推進事業と連携して漢字検定を実施し、そのための補習も数回実施した。学力については全国平均を下回ったものの、「読書が好き」な割合が増えたことは、学校図書館補助員事業を活用して読書活動の定着と図書館利用の活性化を図った成果と考えられる。また、今年度より始まった学校力UP支援事業においては、帰国・来日した生徒の学習支援と学力向上に努めており、十分な成果を発揮している。

今後は、電子黒板やタブレット端末等ICT機器を活用した授業を含め指導方法の工夫をさらに進めていく。規範意識や自尊感情については、今後も学校行事や特別活動等の取り組みを通して、生徒が充実した学校生活が送れるようにし、肯定的回答の割合が高い状況を維持する。基本的生活習慣や家庭学習の定着に向けては引き続き小学校や家庭と協力し取り組んでいく。

## 【 全体の概要 】

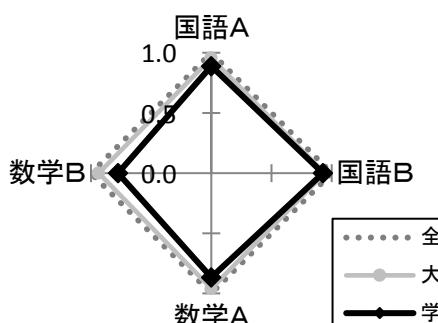
### 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	69	67	56	37
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

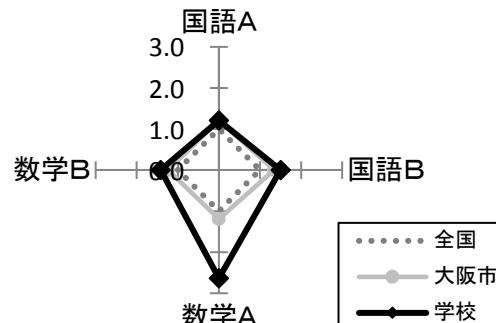
### 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	2.9	5.7	16.6	16.6
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



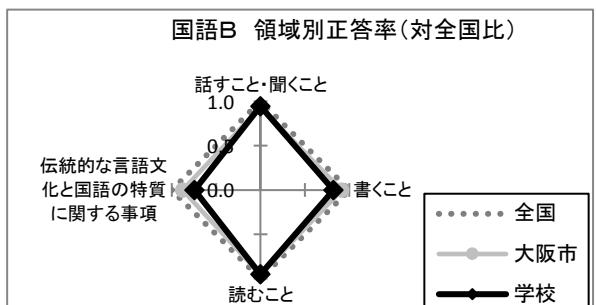
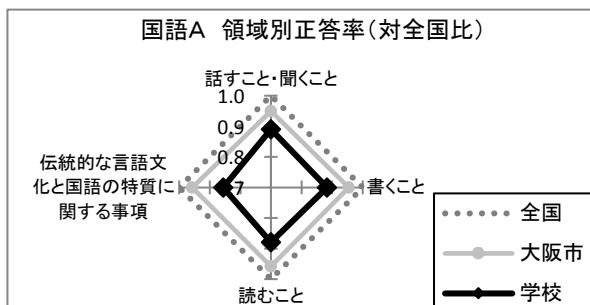
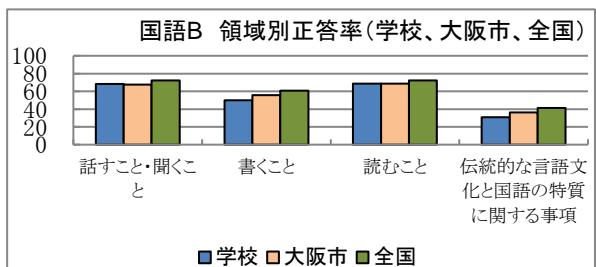
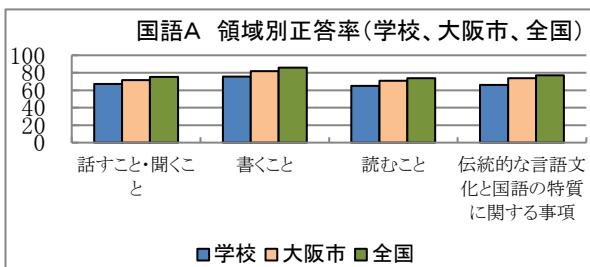
平均無解答率(対全国比)



## 【 国語 】

A 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	67.1	71.6
	書くこと	4	75.7	81.8
	読むこと	6	64.9	70.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	66.1	73.9

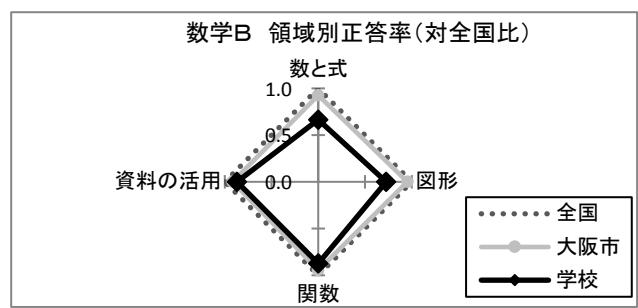
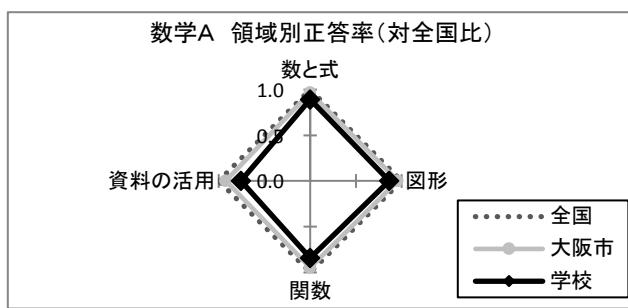
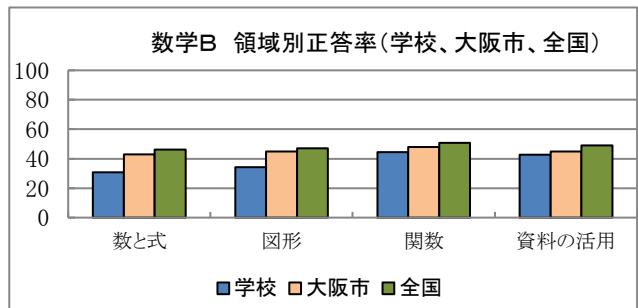
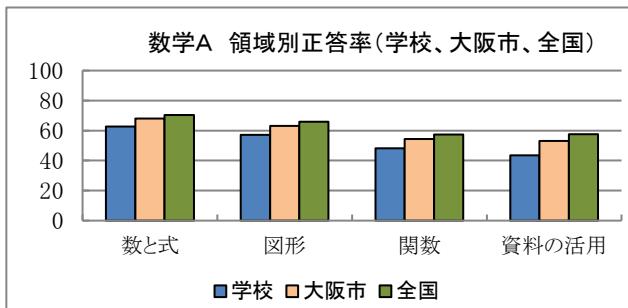
B 問題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	68.4	67.5
	書くこと	4	50.0	55.6
	読むこと	4	68.6	68.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	30.8	36.3



# 【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	62.8	68.1
	図形	12	57.1	63.2
	関数	8	48.3	54.4
	資料の活用	4	43.6	53.1

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	3	30.8	42.9
	図形	6	34.2	44.9
	関数	3	44.4	48.0
	資料の活用	3	42.7	45.0



## 生徒質問紙より

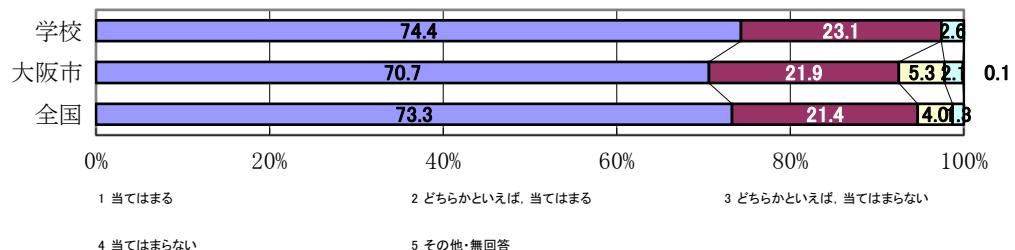
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号

質問事項

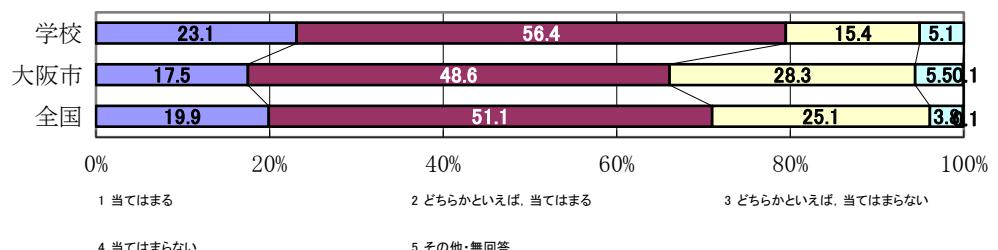
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



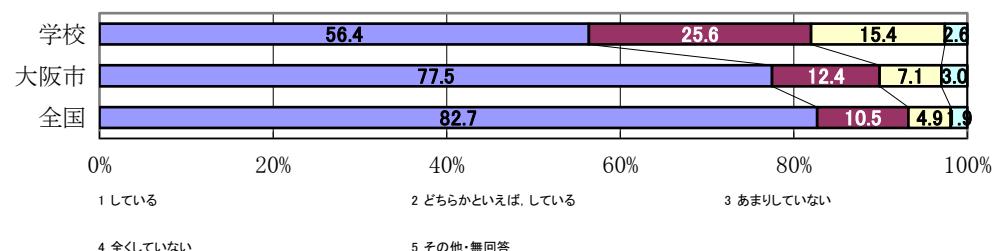
5

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



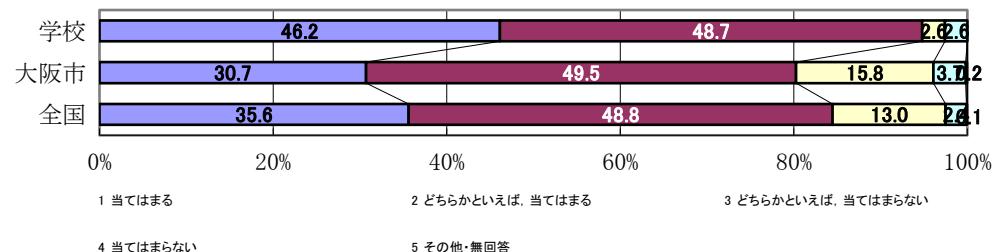
1

朝食を毎日食べていますか



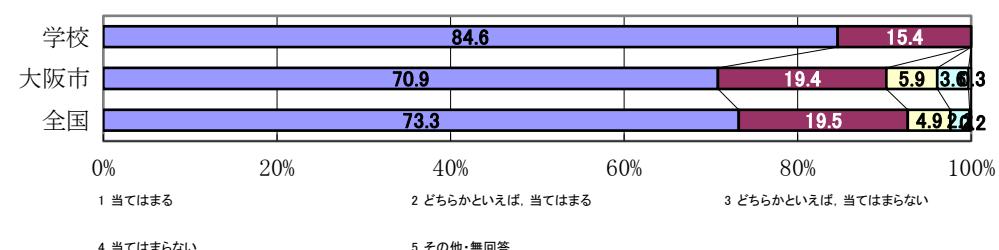
53

人が困っているときは、進んで助けていますか



54

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



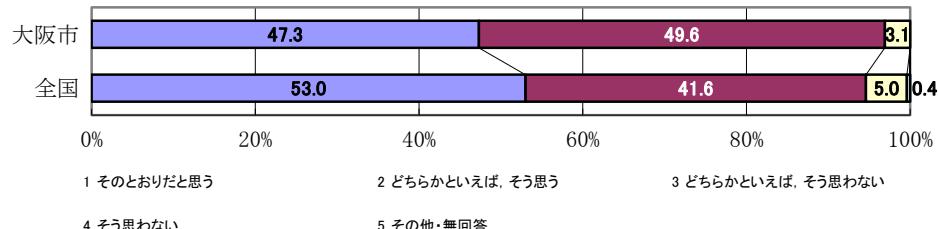
## 学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
13

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

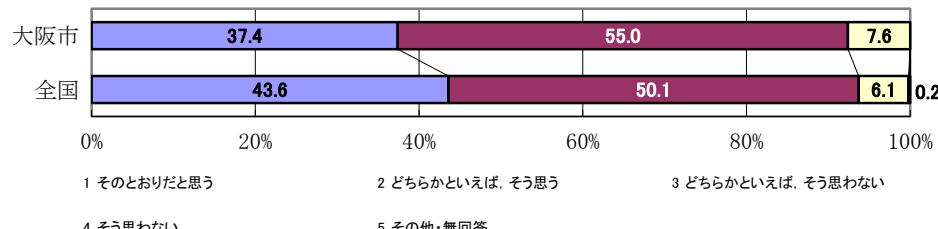
### 学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
質問事項
14

調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

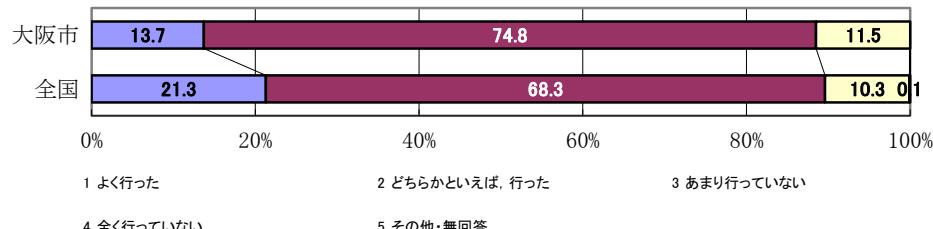
### 学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
質問事項
32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

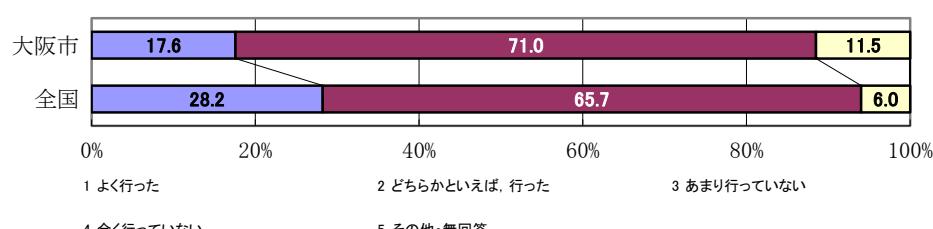
### 学校 「よく行った」を選択



質問番号
質問事項
36

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考え方を引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

### 学校 「よく行った」を選択



質問番号
質問事項
45

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

### 学校 「よく行った」を選択

